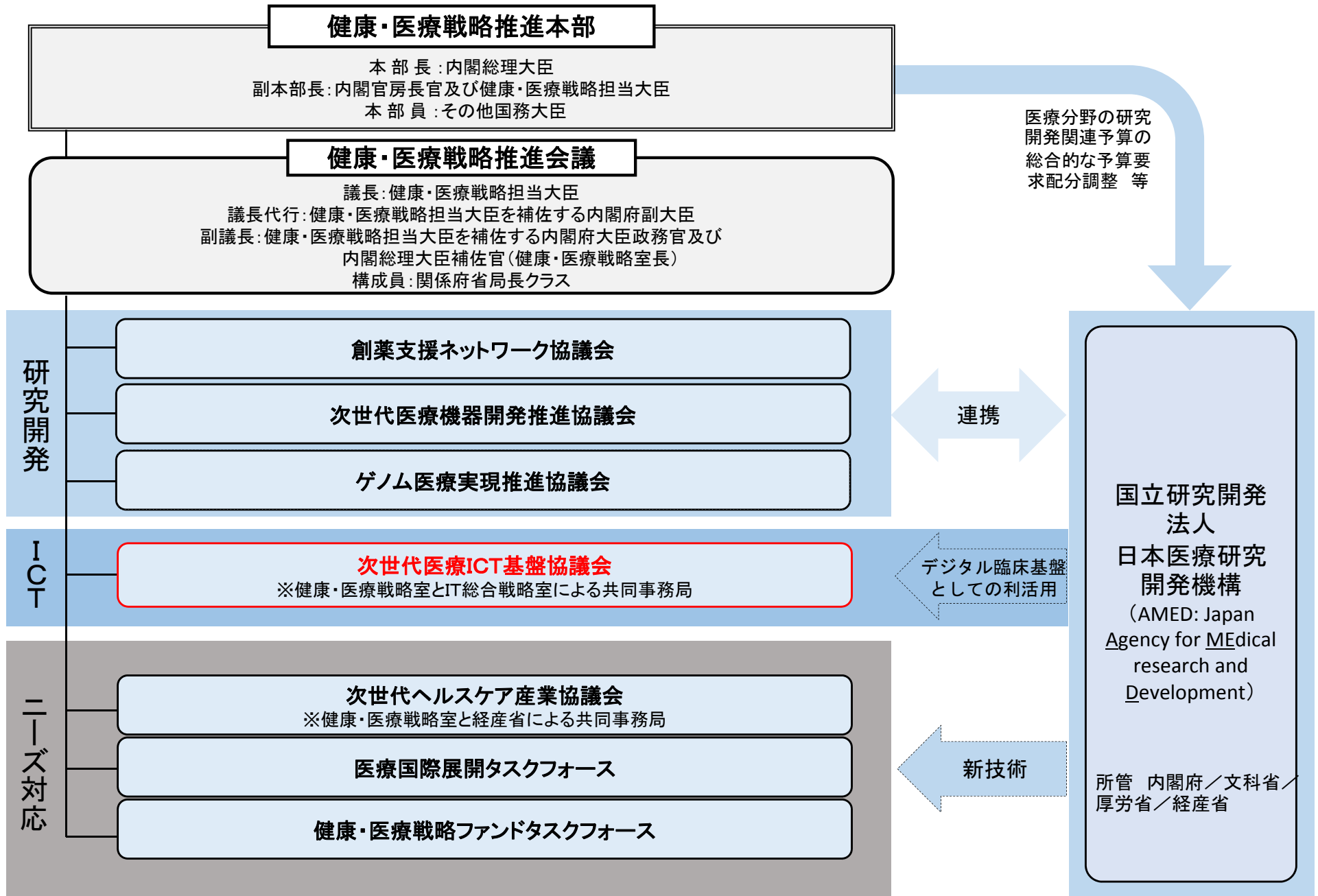


# ICT関係の取組について

平成27年6月17日

内閣官房 健康・医療戦略室

# 健康・医療戦略の推進体制図 (事務局 健康・医療戦略室)



## 次世代医療 ICT 基盤協議会の構成

○ 議長： 和泉 洋人 内閣官房健康・医療戦略室長(総理補佐官)

○ 構成メンバー:

(五十音順) 飯塚 悦功(東京大学名誉教授)  
大江 和彦(東京大学医療情報経済学教授)  
大久保 満男(日本歯科医師会会長)  
金子 郁容(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)  
菊地 眞((公財)医療機器センター理事長)  
喜連川 優(国立情報学研究所所長、東京大学生産技術研究所教授)  
桐野 高明((独)国立病院機構理事長)  
近藤 達也((独)医薬品医療機器総合機構理事長)  
堺 常雄(日本病院会会長)  
神成 淳司(慶應義塾大学環境情報学部兼医学部准教授)  
末松 誠(国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)理事長)  
田中 紘一(医療法人社団神戸国際フロンティアメディカルセンター理事長)  
永井 良三(自治医科大学長)  
樋口 範雄(東京大学大学院法学政治学研究科教授)  
福井 次矢(聖路加国際大学理事長)  
堀田 知光(国立研究開発法人国立がん研究センター理事長)  
松本 純夫((独)国立病院機構東京医療センター名誉院長)

矢作 尚久(国立研究開発法人国立成育医療研究センター臨床研究開発センターデータ科学室室長代理)

山本 修一(国立大学附属病院長会議常置委員長)

山本 信夫(日本薬剤師会会長)

山本 隆一((一財)医療情報システム開発センター理事長)

横倉 義武(日本医師会会長)

吉原 博幸(宮崎大学医学部附属病院長)

○ 関係府省:

内閣官房内閣審議官(内閣官房副長官補付)

内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室長代理(副政府CIO)

総務省政策統括官(情報通信担当)

文部科学省研究振興局長

厚生労働省大臣官房技術総括審議官

厚生労働省保険局長

厚生労働省政策統括官(社会保障担当)

農林水産省食料産業局長

経済産業省商務情報政策局長

財務省主計局(オブザーバ)

(一社)MEJ(オブザーバ)

○ 事務局: 内閣官房健康・医療戦略室及びIT総合戦略室

## 問題意識

- 医療分野の高度化と効率化の両立による社会保障給付費の適正化は喫緊の課題。同時に世界最先端の臨床研究基盤を構築し、新しい医療技術・医薬品等を国内外の市場に展開する成長戦略的視点も重要。これらの両立には、臨床現場の徹底的かつ戦略的なデジタル化とともに、生成デジタルデータの戦略的利活用が不可欠。
- 現在、全国規模で利活用が可能な標準化されたデジタルデータは、診療行為の実施情報(インプット)である診療報酬明細書(レセプト)データが基本。診療行為の実施結果(アウトカム)に関する標準化されたデジタルデータを利活用することは、世界的にも重要な課題。(アウトカム=検査結果、服薬情報等)

## 目的

- ①【医療ICT基盤の構築】 アウトカムを含む標準化されたデジタルデータ(以下データ)の収集と利活用を円滑に行う全国規模の仕組みの構築。
- ②【次世代医療ICT化推進】 臨床におけるICTの徹底的な適用による高度で効率的な次世代医療の実現と国際標準の獲得。

## 効果

- 世界最先端の医療行政・医療サービスの実現。医療の状況の正確で精密な把握や遠隔医療による医療資源の偏在の克服等。
- 世界最先端の臨床研究基盤の実現。(独)日本医療研究開発機構と車の両輪で新しい医療技術・医薬品・医療機器の開発が加速。
- 【医療行政・医療サービス】
  - 医療資源の偏在(時間・距離)を克服した全国均一の高度で質の高い診療の実現
  - 科学的な根拠に基づく最適な治療の保険収載
  - 疾病の発生に即応した先制的な行政
- 【臨床研究／コホート研究】
  - 医薬品、再生医療 等、医療技術の開発促進(臨床研究の設計・実施の精密化、大規模化効率化、信頼性向上)
  - 効果的な治療方法の発見や科学的選定。個別化医療の実現。科学的根拠のあるヘルスケアサービスの振興
- 【新技術／新産業創出】
  - 個人のヘルスケアデータを管理・運営するサービス等の新産業創出／新しい医療技術や科学的発見

